

ルール

競技

- ・各大会で定められた競技受付時間に間に合わなかった場合競技失格となる。しかし交通事情などによる遅刻等は大会事務局への連絡があり、なおかつ競技に間に合えば、裁定の上、受付を認める場合もある。

[以下の行動を行った場合、競技失格となります]

- ・JPLA が定めるルールやマナーに従わなかった場合。
- ・JPLA のルールが定める以外の不正用具を使用した場合。
- ・ドーピング検査で薬物の使用が認められた場合。
- ・競技中のグリッド内の選手に対する補助行為。補助した側、された側も違反。
アドバイスやクラブ、ボールの受渡しなどの競技中の選手を補助する行為。
しかし補助された側が、補助の要求をせずに補助を受け容れなければその限りではない。
周知の事実は伝えることができる。(飛球方向や残り時間など)
- ・キャディ帯同が許された試合はキャディに限りその限りではない。
- ・競技中に方向を示す目安を置いた場合。
- ・競技中にボールは見える場所に置いておかなければならない。
- ・雨天などにより、クラブやボールなどの用具を濡らさないために、傘やタオルなどにより覆うことは認められるが、ボールは目視できるようにしなければならない。
- ・使用クラブは受付時に申告をしたもの以外は使用できない。申告本数の制限は無い。
申告をせずにクラブを使用した場合、競技失格となる。
- ・試合規定時間内にインパクトを迎へられなかったボールは無効打となる。
- ・定められたティーインググラウンドの範囲外からのボールは無効打となる。
- ・無効打は（ファール）となり計測対象にならないが、有効打数に加算される。